

質疑書

工事名：沖縄科学技術大学院大学第2データセンター新営その他工事

学校法人沖縄科学技術大学院大学学園			
No.	該当資料・項目	質問事項	回答
1	数量表 B外構工事 2.排水工事	自由勾配側溝 グレチング 溝蓋は、ステンレスと記載されておりますが、側溝の受枠は2次製品のため、亜鉛メッキスチールで宜しいでしょうか。	側溝の受枠もステンレス製といたします。
2	数量表 B外構工事 3.その他工事	自家発電機オイルタンク基礎について代価（45）に記載の山留の詳細数量をご教示下さい。（親杭の形状寸法・本数・横矢板の厚さ等）	山留の参考数量は以下のとおりです。 親杭横矢板H-300 矢板厚40mm 親杭間隔1200mm アースオーガ併用
3	2-2-5.別添5	機械設備工事の空調機械設備工事(別紙明細1-2)、換気機器設備工事(別紙明細8-2)、消火設備工事(別紙明細15-2)の搬入費の搬入基準単価の数量がREF!と記載されており、数量が不明です。ご指示をお願い致します。	別添5を修正いたしました。 https://www.oist.jp/ja/about/procurement/construction 公告【追加資料・別添5修正版の公表】沖縄科学技術大学院大学第2データセンター新営その他工事内資料をご確認下さい。 なお、それぞれの数量は以下のとおりです。 別紙明細1-2 32.0 t 別紙明細8-2 0.97 t (明細番号を6-2→8-2に訂正) 別紙明細15-2 0.37 t
4	積算数量調書	2-2-5.別添5の内、 Ⅰ.建築工事は2-2-3.別添3 Ⅰ.直接工事費、 Ⅱ.機械設備工事は2-2-5.別添5 Ⅱ.機械設備工事 Ⅲ.電気設備工事は2-2-7.別添7 【電気設備工事】 と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
5	積算数量調書	今回の積算数量調書には、共通仮設・諸経費等の項目がございませんが、Ⅳ・Ⅴとして追記の必要が有る物と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 なお、共通仮設費の積み上げ相当分については、参考として「別紙 共通仮設費積み上げ参考数量書」にて提示いたします。 https://www.oist.jp/ja/about/procurement/construction 公告【追加資料・別添5修正版の公表】沖縄科学技術大学院大学第2データセンター新営その他工事内資料をご確認下さい。
6	積算数量調書	積算数量調書に記載の無い物は全て別途工事と考えて宜しいでしょうか。	原則、お見込みのとおりです。 ただし、質疑回答書により追加された事項については、積算数量調書に記載がない場合でも本工事に含まれます。
7	A-008	工事エリアの敷地内隣接部で仮設事務所や駐車場の為のスペースを無償借用する事は可能でしょうか。 又、上記が可能な場合どのエリアをお借りできるのでしょうか。	本工事に供するための仮設物及び駐車場等については、工事用地より西側周辺部で利用する事ができます。借料は無償としますが、受注者負担による現状復旧とします。また、具体的に利用できる敷地の範囲については、契約後の協議といたします。
8	E13~14	トランス容量について、 単線結線図に盤⑩トランス15000KVAと記載してありますが、 盤立面図と相違があります。 1500KVAと読み替えて宜しいですか。	盤⑩のTR-B1の容量は、1500KVAに訂正いたします。
9	E13	既設第2エネルギーセンターの受変電について、 既設改造がある為、既設メーカーを御教示願います。	既設受変電設備の製造業者は、東芝インフラシステムズ(株)です。

質疑書

工事名：沖縄科学技術大学院大学第2データセンター新営その他工事

学校法人沖縄科学技術大学院大学学園			
No.	該当資料・項目	質問事項	回答
10	E31	既設研究棟4の中央監視装置について、 既設改造がある為、既設メーカーを御教示願います。	中央監視装置の製造業者は、アズビル（株）です。
11	E56~65	弱电設備について、 インターカム、入退室、監視カメラ、自火報に 既設改造がある為、既設メーカーを御教示願います。	既設設備の製造業者は以下のとおりです。 インターカム設備　：TOA（株） 入退室監視設備　：セコム（株） 監視カメラ設備　：セコム（株） 自動火災報知設備　：パナソニック防災システムズ（株）
12	E66~86	特高設備について、 既設改造がある為、既設メーカーを御教示願います。	既設受変電設備の製造業者は、東芝インフラシステムズ（株）です。
13	PL201	給水分岐について、 既設構内通路内給水本管200φから分岐と記載してありますが、 凍結工法で対応できる配管種類として宜しいですか。	既設給水配管の管種は、HPPE200φです。 エアバック式止水工法を想定しておりますが、 工法の可否については、不断水工法専門業者へご確認下さい。 既設配管の製造業者は、三井金属エンジニアリング（株）です。
14		以下余白	